



## <日本語を母語としない子ども>って何? という方のために

最初は外国出身の学校転入支援や日本語支援の必要な子どもを外国籍児童・生徒と呼んでいましたが、中には国籍は日本でも全く日本語を理解しない子ども達もいるため、「日本語を母語としない子ども」という言葉を使うようになりました。

学者や支援団体などにより、「外国にルーツを持つ子ども」「外国からの子ども」「外国につながる子ども」「文化間移動をする子ども」「異文化間に育つ子ども」「異文化を背景とする子ども」「母語や文化背景が異なる子ども」「ニューカマーと呼ばれる子ども」「外国出身の子ども」などと表現されています。

### 講師の松尾さんの所属するAJALTとは

社団法人 国際日本語普及協会 AJALT Association for Japanese-language teaching  
対象者別に外国人への日本語教育を実施。諸機関主催講座への講師派遣。難民に対する日本語教育を担当。「かんじだいすき」など教材発行。「リソース型生活日本語」をホームページに公開。平成13年度より文化庁の委嘱を受けて、地域日本語支援コーディネーターやボランティアの育成事業も行い、地域日本語支援相談にも応じている。

### \*今年度開催予定のシリーズの講座・ワークショップ

	日時	会場	講師	内容
1	8月29日(土)	中央公民館	(特) 開発教育協会 西あいさん	<ワークショップ> 異文化体験
2	9月13日(日) 午後1時30分~ 4時	中央公民館 第1、2講座室	(国際日本語普及協会) 松尾 恭子さん (特) Living in Japan 築瀬	<講座> “にほんご” 支援 ご近所の底力
3	11月8日(日) 午後1時30分~ 3時30分	中央公民館 第1、2講座室	東京外国語大学 留学生日本語 教育センター教授 放送大学客 員教授 伊東 祐郎 先生	<講座> 異文化におけ る日本語支援~言語習得 から考える~
4	平成22年1月頃	未定	(予定) 「どのように支援するのか~日本語指導の実際~」 「支援を始めるための学び、スキルアップ」	

私たち特定非営利活動法人 Living in Japan は、

日本語を母語としない

日本文化を母文化としない人たちが

日本で生活したり 子どもが学校に通うことの支援を行い  
より良く地域になじみ、暮らせることと

成熟した多文化共生社会として、

お互いの文化などを尊重し合える まちづくりを  
目指しています。

### <事業内容>

- ・国際相談コーナー(2003年より市役所内に設置)の運営  
昨年度利用件数 2767件  
日本語支援時間数 2022時間
- ・にほんごで勉強会  
(獨協大と谷塚文化センターにて)  
昨年度実施回数 93回
- ・資料閲覧・貸し出し
- ・多文化共生のための講師 など

## 募集中

活動に参加する会員、ボランティア  
スタッフ、応援してくれる賛助会員  
など。  
興味のある方はご連絡ください。

NPO 法人 Living in Japan 代表理事 築瀬 裕美子  
〒340-0044 埼玉県草加市花栗3丁目21番8-804号  
Tel. 080-2049-4117  
Mail: soka-living@yahoo.co.jp  
http://www.p-kit.com/hp/sokaliving/